国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 25 年 3 月 21 日

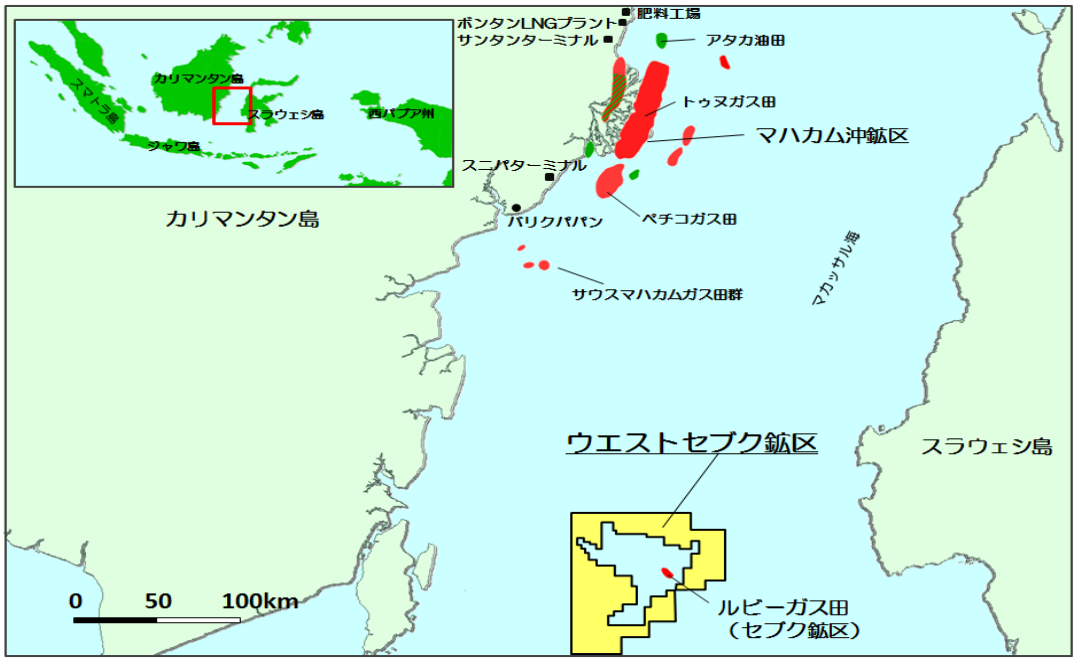
各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橋高　公久
電話番号　　03-5572-0233

インドネシア共和国　南マカッサル海域　ウエストセブク鉱区（探鉱鉱区）の落札について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、アラブ首長国連邦アブダビ政府系投資会社ムバダラ社の子会社であるムバダラペトロリアム社（以下、ムバダラ）とともに、2012 年インドネシア第二次鉱区公開ラウンドに共同で参加し、南マカッサル海域ウエストセブク鉱区（探鉱鉱区）を落札いたしましたので、お知らせいたします。今後インドネシア政府当局との間で本鉱区に係る生産分与契約の締結について協議を進めてまいります。

この鉱区は、当社が仏トタール社とともに開発・生産事業を実施しているマハカム沖鉱区の南約 300km に位置する海上鉱区で、水深は約 40～1,400m、鉱区総面積は約 4,933km²です。この鉱区の近傍には本年後半の生産開始に向けて順調に開発作業が行われているルビーガス田を含むセブク鉱区*が位置しており、開発に当たっては将来的にセブク鉱区とのシナジー効果が期待できる有望な鉱区です。



＊ルビーガス田は、当社子会社のインペックス南マカッサル石油株式会社を通じ、ムバダラ社子会社でオペレーターを務めるパールエナジー社や仏トタール社とともに開発作業を進めています。

2011 年 6 月 21 日に公表した当社プレスリリースをご参照ください。

http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2011/20110621.pdf

当社はこの鉱区において 24.5%の権益を保有し、オペレーターとして 75.5%の権益を保有するムバダラとともに、今後三次元地震探鉱作業などの探鉱作業を実施し、石油・天然ガスの胚胎の可能性を調査してまいります。

当社は、事業活動の中核であるインドネシアで、東カリマンタンマハカム沖鉱区における50%の参加権益を保有し原油・天然ガスの開発・生産事業を実施しているほか、マセラ鉱区ではオペレーターとしてアバディガス田の開発準備作業を実施している等、合計11鉱区において探鉱・開発・生産事業を展開しております。当社は今後も、インドネシアをはじめとして、事業活動の中核的地域であるアジア・オセアニア地域において積極的に事業を展開してまいります。

以上